

「核兵器はいらない」 NPT(核兵器不拡散条約)再検討会議に向けてアピール

よどがわ生協では、核兵器や戦争のない平和な世界の実現のため、さまざまな取り組みを行っています。4月24日(金)～5月1日(金)の8日間、米国・ニューヨークの国連本部にて行われた核兵器不拡散条約(以下、NPT)再検討会議へ、よどがわ生協の組合員2人(組合員理事・平和グループより各1人)をNPT日本生協連代表団として派遣しました。

日本生協連の派遣団は、各生協1～2人の組合員・役職員と日本生協連事務局で構成し、被爆者代表として参加する日本原水爆被害者団体協議会(以下、日本被団協※)と協力して、世界から参加する政府関係者やNGO団体に向けて、被爆の実相を広げる活動(被爆証言や原爆パネル展の開催、各国政府代表への要請行動など)に取り組めます。

日本生協連派遣団は、被爆者と共に取り組みます！

※日本被団協とは

47都道府県のそれぞれにある被爆者(広島・長崎で原爆の被害を受けた被害者で生存している人)の団体の協議会で、被爆者唯一の全国組織です。今回、NPT再検討会議に約50人被爆者を派遣し、国連での原爆パネル展や証言活動などを行います。

※日本生協連は、被爆者の現地行動を支えられるよう約90人を派遣します。

NPT再検討会議とは…

★1970年に「核兵器不拡散条約(Nuclear Non-Proliferation Treaty、略称:NPT)」発効

- 核兵器保有国5カ国(米国・ロシア・イギリス・フランス・中国)に核軍縮を義務付けしました。
- 5カ国以外の非・核兵器保有国の核兵器保有や開発を禁止しています。

★条約締約国は？

- 核兵器保有国5カ国(米国・ロシア・イギリス・フランス・中国)と、非・核兵器保有国185カ国の合計190カ国が条約を締結しています。
- 北朝鮮は、2003年に条約脱退を表明しました。
- 非締約国には、インド・パキスタン・イスラエルなどの核兵器を保有またはその疑いがある国も。

★5年に1度の再検討会議でチェック!

再検討会議は、1970年の条約発効以来5年毎に国連本部のあるニューヨークで開催され、締約国が核不拡散条約を守っているかをチェックしており、今年はそのチェックの年(再検討会議を開催)となりました!

よどがわ生協は、組合員の平和への声を届けました!

①「核兵器全面禁止アピール」署名を提出しました

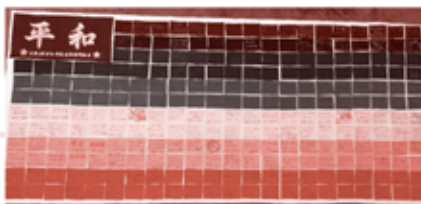
1月～5月までにご協力いただいた「核兵器全面禁止のアピール」署名は合計7,891筆となりました。署名は国連を通じて、今回のNPT再検討会議に提出しました。ご協力ありがとうございました。



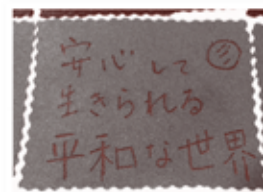
② 平和の祈りのタペストリーを持って平和パレードに参加しました

2014年度末総代懇談会などで総代や組合員みなさんに書いていただいた平和への

メッセージをタペストリーにしました。よどがわ生協から派遣した2人がこのタペストリーを持ちながら、ニューヨークの平和パレードに参加しました。



総代から寄せられた平和へのメッセージ



くわしい報告は機関紙7月号にて掲載します!



<http://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の生協さん 第3支所



担当エリア:吹田地域担当 新人ですが、笑顔と元気で配達 大藤 裕志(おほしじ) 頑張ります!



よどがわ市民生活協同組合は環境マネジメントシステムに基づいたとくみを行なっています。